

平成30年度事業計画について

I. 基本方針

1. 九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）の方向性

- ・九州の環境・エネルギー産業が競争力を維持・強化するためには、ユーザーや内外の国や地域のニーズや課題を的確に把握した新製品・サービスやビジネスモデルの提供を通じ、顧客価値を生み出すことが求められている。さらに、将来起こり得る課題に対するソリューションの提案力も重要となっている。
- ・設立後19年目を迎えたK-RIPは、いち早く、時代と海外のニーズを捉え、これまでに蓄積された技術力・人材力・ネットワーク力・組織力を活かし、顧客の価値を最大化することで、九州を世界に通用する競争力を有した環境・エネルギー産業の先導的地域とすることを旨とする。

2. 平成30年度の重点事業

(1) 海外ビジネス展開の深化

- ・経済発展に伴いリサイクル等の環境問題が顕在化するとともに、発展途上地域における水質浄化や電気の安定供給などのインフラ整備など、ASEANや台湾の環境・リサイクル・エネルギー分野の課題を解決するビジネスを志向する参加企業等のニーズを踏まえ、精度の高いマッチングやネットワークの形成事業を企画・実施することにより、九州の環境・エネルギー産業の国際競争力の強化を図る。また、海外の生のビジネス情報や最新の環境・エネルギー政策の動向を会員に提供するセミナー等を開催し、海外情報や政策及び海外の環境団体等とのネットワークを形成する。

(2) ニーズを踏まえた新しい視点での新製品・サービス開発、新市場開拓

- ・ニーズの多様化、開発のスピードアップ、ライフサイクルの短縮化等に対し1社の経営資源だけでなく、外部の技術・ノウハウ・データ等を取り込んで新製品・サービスを開発するオープンイノベーションやセンシングやモニタリングにより、データを収集し、解析して、的確な管理を行う環境エネルギービジネスでは、IoTは有効なツールとなっている。
- ・これらの新しい視点を意識しつつ、エコ塾、ビジネスマッチング交流会、プロジェクト研究会等の事業を展開することにより、将来を見据えた会員企業の新分野進出等を支援する。

(3) 地域中核企業の振興

- ・人口や労働力の減少、地方の若者の流出、人手不足などの構造的な課題に直面している地域において、安定的な雇用と地元企業への部材等の発注や地方税の納税等を行うことにより、地域経済を牽引している地域中核企業の振興と成長は、K-RIPの重要な課題との認識の元、関連企業のニーズに沿ったプロジェクトの組成等を支援することにより、若者等の雇用の創出に貢献するとともに環境・エネルギー産業の裾野の拡大を図る。

(4) 情報発信機能の強化

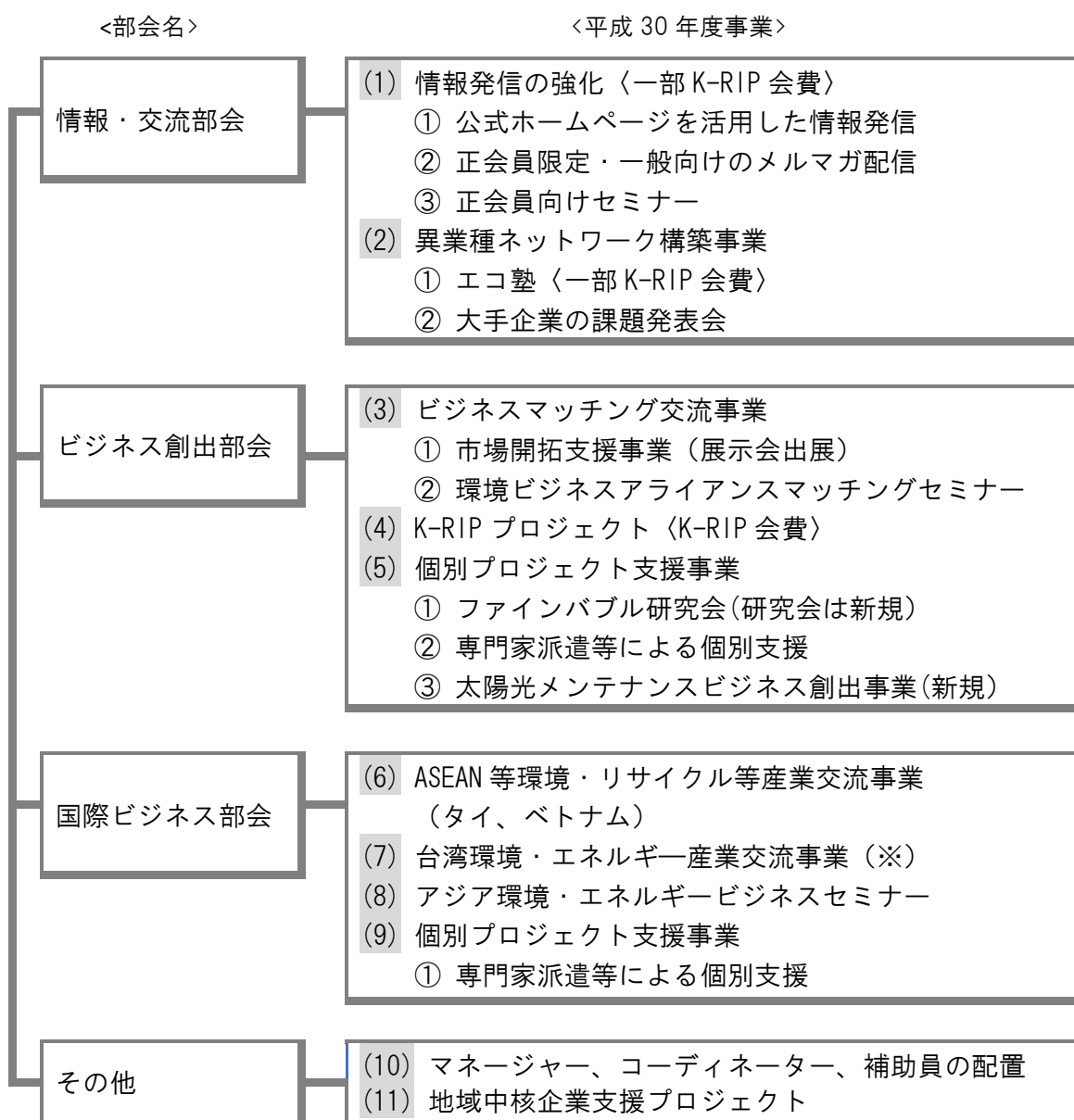
- ・国のエネルギー政策や関連法令、環境エネルギー関連市場等の最新動向等の一般メルマガ配信を行うとともに、新技術・新商品紹介に関するタイムリーな情報を正会員限定でメルマガ配信を行う。また、環境・エネルギー分野の実務に直結した情報を解説する正会員向けのセミナーを開催する。

3. 平成30年度の事業目標

- ・平成30年度の事業目標は、次の3部会が企画・推進する事業を契機として、会員企業や参加企業において達成された、以下の指標を数値目標とする。

事業目標指標	数値目標
・ 新製品・サービスの創出数	10件以上
・ 業務提携※や取引成約数	50件以上
※生産提携、販売提携、技術提携、資本提携、秘密保持契約、MOU、販売・納入契約等	

3部会が企画・推進する事業



- (注) 1. K-RIP会費予算以外は平成30年度経産省の地域中核企業創出・支援事業（委託費）
 2. ※は（一財）貿易産業協力振興財団の助成金事業

II. 個別事業計画

1. 情報・交流部会

(1) 情報発信の強化（K-RIP 会費、経済産業省委託費）

①公式ホームページを活用した情報発信

・K-RIP の事業や会員企業の紹介など、ホームページを活用した情報提供を行う。

②正会員限定・一般向けのメルマガ配信

・国の環境エネルギー政策や関連法令、環境エネルギー関連市場等の最新動向等の一般メルマガ配信を行うとともに、新技術・新商品等に関するタイムリーな情報を正会員限定でメルマガ配信を行う。

③正会員向けセミナー

- ・環境エネルギー分野の新商品・サービスの開発、ビジネスモデルや新事業の創出を実現するための情報提供、交流、F S 調査、技術開発、研究会、市場開拓、マッチング、海外展開等の事業を行うため、九州地域内外の自治体・産業支援機関・大学等との連携を強化する。
- ・また、環境・エネルギーに関連する経産省や環境省等の支援施策や法令、エネルギー基本計画等の重要な計画、IoT・AI等を取り入れた先進的な企業の取組み、大学等の研究活動等の有益な情報及び環境エネルギーに関する内外の市場ニーズ等の最新動向を、正会員限定のメールマガジンで配信するとともに正会員向けセミナーを開催する。

(2) 異業種ネットワーク構築事業（K-RIP 会費、経済産業省委託費）

①エコ塾

- ・環境エネルギー分野の新商品・サービスの開発、ビジネスモデルや新事業を創出するための異業種との連携・ネットワークの形成を目的として、特徴的かつモデル的な取組みを行っている企業や研究者による技術・サービス・ビジネスモデル及び研究成果等のプレゼンを行う異業種交流会であるエコ塾を定期的で開催する。
- ・平成30年度は自治体や金融機関との連携により、九州各地で複数回開催し、環境・エネルギー分野の裾野の拡大と広域的な連携を促進する。
 - 2～3社・者のプレゼンテーションと交流会
 - 場所は福岡市（福岡合同庁舎会議室等）、九州各県（3回程度）

②大手企業の課題発表会

- ・大手企業等がほしい技術、システム、商品・部材・資材等を発表し（オープン化）、それに企業等がソリューション等を提案し、具体的な提携や取引に結び付ける課題発表会を開催する。
- ・他の産業支援機関と共同して、大手企業等によるオープンイノベーション型課題発表会事業を計画する。

2. ビジネス創出部会

(3) ビジネスマッチング交流会事業（経済産業省委託費）

①市場開拓支援事業（展示会出展）

・環境エネルギー関連企業の新規取引先やビジネスパートナーを発掘し、売上の拡大につなげるとともに、自社の製品やサービスの市場での評価を見定め、今後のビジ

ネス展開を検討するため、九州内外の大型環境見本市等に参加し、プレゼンや個別商談会を開催する。

○エコテクノ 2018、平成 30 年 10 月 10 日～12 日、北九州市

○ENEX2019、エネルギー総合展、平成 31 年 1 月 30 日～2 月 1 日、東京都

・ 支援予定社数: 数社程度 (出展者の自己負担あり)

②環境ビジネスアライアスマッチングセミナー

- ・九州の環境エネルギー関連企業の九州域外の企業等との取引の拡大を目的として、九州域外の産業支援機関と連携し、九州域外の企業との個別商談会やマッチングを行う。
- ・平成 30 年度は、参加企業から具体的な欲しい技術・部品やデータ等を事前に提示した上で、それに対し、提案ができる企業との、いわゆるオープンイノベーション型のマッチングセミナーを行う。地域は沖縄や関東の企業とのマッチングを行う。

(4) K-RIP プロジェクト (K-RIP 会費)

- ・環境エネルギー関連企業の新商品・サービスの開発、ビジネスモデルの創出を目的として、新事業の可能性調査、新製品の試作・開発、既存製品の改良や海外でのサンプル的な販売等の事業を対象とした会員向けの公募事業として、必要な経費の一部を助成する。
- ・また、事業の実施に当たり、採択事業者の要請があれば、知財・経営・技術等の相談に対応するため専門家の無料派遣を行う。
- ・なお、K-RIP プロジェクトの成果を評価するため、事業中の定期的なフォローを行うとともに、事業終了後においても、次のステップへ進むための外部資金の獲得や取引候補企業とのマッチングなどの継続的なフォローを行う。

(5) 個別プロジェクト支援事業 (経済産業省委託費)

①ファインバブル研究会

- ・ミクロン(1 μ m=1/1000mm)オーダーの微細な気泡であるファインバブルは液体によく溶け、汚染物質を凝集する効果があることから、水質の改善、食品の殺菌や洗浄、水耕栽培や養殖等の一次産業、造影剤への導入による病気診断や薬品への適用など多方面の利用が期待されるとともに、省エネルギー・低環境負荷を実現する技術として期待されている。
- ・九州にはファインバブルの装置メーカーはじめとする産業の集積が進んでおり、このポテンシャルを活かし、装置の性能等の評価と立証、技術開発等を通じた新市場の開拓を目的としたファインバブル研究会を設置し、K-RIP 発のイノベーションの創出を目指す。
 - ワーキンググループの設置 (十数機関程度参加予定)
 - 事業内容
 - ・活用分野の検討、技術の測定と評価、製造装置メーカーとユーザーとの商談会、IoTやAIの活用の可能性やビジネス化の課題の検討インターアクトア 2019 等の国際的な展示商談会への参加

②専門家派遣等による個別支援

- ・専門家による外部資金(技術開発補助金、F/S 調査、設備投資支援事業、海外展開補助金、JICA・JETRO・NEDO 事業等)を活用したサポートを行うとともに、技術開発、海外展開、法務、知財、経営、金融、マーケティング等の相談に対応する専門家と提携し、企業の課題や相談に応じて適切なアドバイスや繋ぎ等のコーディネートを行う。

- ・また、必要に応じてターゲット分野の専門家や関係する支援機関のコーディネーター等と提携し、不足するリソースの補完やパートナー企業の発掘等を支援する。

③太陽光メンテナンスビジネス創出事業

- ・九州で導入が進んでいるがメンテナンス等の在り方に課題を抱える低圧産業用太陽光発電の出力の維持や今後の導入進展に伴い再生可能エネルギー比率が高まることへの、太陽光メンテナンスビジネス創出のためのニーズ等の調査を行うとともに、具体的なビジネス支援の在り方等を検討する。

3. 国際ビジネス部会

(6) ASEAN 等環境・リサイクル等産業交流事業（経済産業省委託費）

- ・環境・エネルギー分野の技術・装置・システムの販売・現地生産のための実証・業務提携などの会員企業等の具体的なニーズや課題を把握した上で、タイ、ベトナムをはじめ ASEAN の国々の企業等とのビジネスマッチングを行う
- ・また、ASEAN の国々の環境・エネルギー分野のミッション団の受入れについても先方の具体的なニーズや課題を把握し、会員企業等との効果的なマッチングや情報収集や相互交流を行う。
- ・また、他の ASEAN 地域からのミッション派遣等の要請があった場合は会員企業等のニーズ等を踏まえた事業の企画・実施に努める。
○時期 未定、 ○対象国 タイ、ベトナム

(7) 台湾環境・エネルギー産業交流事業 [（一財）貿易産業協力振興財団補助金]

- ・一人当たりの GDP が急速に拡大している台湾では環境・エネルギー問題が重要な政策課題としてなっており、官民一体となった CO2 削減、新エネルギー導入、省エネルギー推進、リサイクル等が進展している。
- ・このような台湾の情勢を踏まえ、会員企業等のニーズを把握した上で、台湾の業界団体・企業とのマッチングや交流を行い、サンプル出荷や業務提携等の具体的なビジネスの創出に努める。

(8) アジア環境・エネルギービジネスセミナー（経済産業省委託費）

- ・会員企業等の今後の海外ビジネスの情報収集や展開を支援するため、経済成長・人口増加に伴い環境汚染防止や環境保全・修復、リサイクル、エネルギー等の需要が増えるアジアの国々の最新の政策や市場動向等を現地の産業支援機関等の専門家やコーディネーターによるセミナーを開催するとともに、交流会を通じ、参加企業の交流及びネットワークの拡大を図る。

(9) 個別プロジェクト支援（経済産業省委託費）

①専門家派遣等による個別支援

- ・専門家による外部資金（技術開発補助金、F/S 調査、設備投資支援事業、海外展開補助金、JICA・JETRO・NEDO 事業等）を活用したサポートを行うとともに、技術開発、海外展開、法務、知財、経営、金融、マーケティング等の相談に対応する専門家と提携し、企業の課題や相談に応じて適切なアドバイスや繋ぎ等のコーディネートを行う。
- ・また、必要に応じてターゲット分野の専門家や関係する支援機関のコーディネーター等と提携し、不足するリソースの補完やパートナー企業の発掘等を支援する。

4. その他

(10) マネージャー、コーディネーター、補助員の配置（K-RIP 会費、経済産業省委託費）

- ・環境・リサイクル・エネルギー分野の産業、政策・制度、企業等の最新の動向に精通し、会員企業等の相談に応じ、九州域内外の自治体・産業支援機関、外国政府や環境団体機関等と連携・協力して、会員企業等の新商品・サービスの開発、ビジネスモデルや新事業の創出のための具体的なプロジェクトや個別事業の企画運営とフォロー等を行うとともに、将来の環境・エネルギービジネスの芽となるような事業等を企画・実施するマネージャー及びコーディネーターを配置する。
- ・また、マネージャー及びコーディネーターの業務をサポートする補助職員を配置する。

(11) 地域中核企業支援プロジェクト（経済産業省委託費）

- ・経済産業省の委託事業である平成30年度「地域中核企業創出・支援事業（ハンズオン型）」に採択された
 - 「①環境・エネルギー分野における強みを活用した海外展開支援事業」
 - 「②塩化鉄リサイクル技術分野の異分野展開及び都市鉱山リサイクル推進事業」について、K-RIP のネットワーク・ノウハウ等を活用し、新事業展開に向けた事業化戦略の立案/販路開拓等を支援するなど、同プロジェクトに参加する地域中核企業の更なる成長のための支援事業を行う。
- また、次年度以降の新たな中核企業（候補）及びプロジェクトの発掘に取り組む。